

彙報

京都大學文學部哲學科卒業論文題目

昭和二十八年三月

哲學專攻

舊制

東 民夫 カントの哲學における理論と實踐の統一的原理の探求

尼ヶ崎徳一 プラトンの想起説について

大田 穰造 カントに於ける基體の問題

川崎 幸夫 靈の脱底的純粹性

——ニツクハルトに對感せられるドイツ的靈性——

北原隆太郎 自己の在處の問題

倉田 定 辨證法に就いて

坂井 實 現代に於ける人間學の志向とヒューマニズムの課題

竹中 省三 スピノザ、ライプニッツ、カントに於ける自由について

那波 猛男 Einstein Theory

——Witkehead に於ける——

西山 邦彦 シェリング自由論の問題

橋本 正史 意識を充すもの

——現象学的意味充實作用を中心として——

橋本 崧 自覺の立場

平田 友亮 ヘーゲル精神現象學

——自己意識を中心として——

布川 完 カントの道徳法

藤原 廣之 ヘーゲル論理學の目的論と實踐

堀江 浩 カントの純粹理性批判に於ける内官について

三谷 武雄 パスカルより見たデカルト思想

宮地 正治 存在の體驗

森田雄三郎 カントの「反省」

森谷篁一郎 カントの認識論における綜合性について

吉田 保 現實を支へるもの

渡部 昭三 Pragmatism に関する一考察

岩佐 唯明 現存在の歴史性について

——ハイデッガーの時間性の考察——

伊藤結城夫 ヘーゲル哲學に於ける反省と存在構造

大西 多一 經驗と物自體

加藤 明美 連續的流過に關する時間概念の考察

瀧谷 厚保 カント考

土岐 邦夫 カント倫理學に於ける自律について

戸田 賢 ニーチェの倫理學研究

水地 宗明 De imaginatione et intellectione rerum

——Dissertatio de philosophia B. D. Spinoza——

西洋哲學史專攻

舊制

石田 陽一 アリストテレス精神論について

日下 昭夫 トマスに於ける Analogia entis の研究

——Participatio の實在性に就て——

鬼玉 昭人 Frankfort a. M. に於ける Hegel の神學研究に就いて

小林 實 「テアイトス」に於けるプラトンの知性に就いて

高橋 忠允 プラトンの知性に就いて
——特にテアイトス篇を中心として——

田邊 典信 ヘーゲル論理學に於ける「概念」
——概念論「主観性」篇を中心として——

宮本 圭介 マルゲソン哲學研究
——イマージュについて——

横山 哲夫 聖トマス・アクィナスに於ける存在と本質に就いて

吉田 成勝 ソクラテス、プラトンの徳論

岩田政之助 カントの超越論的演繹論に於ける綜合について

松村 洋 ニイチエの歴史哲學

山下 正男 いわゆるバルメニデス篇第二部とイデア説について

印度哲學史專攻

橋本 信慶 Tarkasāṅgraha における句義について

支那哲學史專攻

日原 利國 輿鐵論の思想的探究

藪 敏也 非合理思想より合理思想への展開
——手紙を中心として——

心理學專攻

今井孝太郎 ケーラー効果に於ける奥行の問題

尾崎 孝三 共同思考の實驗社會心理學的分析

澄川 智 現代日本語の文章構造に於ける心理學的研究——特に省・普通見に於ける比較研究——

西原 達也 相互活動過程に於ける社會的影響の一實驗的研究

深山 富男 現代日本語は小説・哲學・科學等の分野に於ける個別的調査

室伏 靖子 圖形殘効における豫備的實驗
——所謂 displacement 効果の分析——

新制 秋田 宗平 本川氏の電氣刺激法による一研究

荒木 左近 人間の言語學習に於ける移入 (transfer) の條件

神戶 忠夫 「自動運動」現象に關する一考察

竹本 敬道 幼時に於ける飼育條件の學習に及ぶ影響

前川 哲治 移調行動に關する Spence 説の實驗的検討

倫理學專攻

舊制 上田 隆章 北村透谷の倫理思想的考察

岡 開造 Emil Brunner の社會倫理思想
——Gebot の思想と Kapitalismus 批判を中心として——

前田 成昌 倫理的實存に關する一試論
——キェルケゴナルをめぐる——

森下 利明 益軒の人倫

横山 恒雄 制裁の倫理
——ベンタムの功利主義倫理學——

教育學教授法專攻

新制 横山 恒雄 制裁の倫理

教育學教授法專攻

舊制

内海 悦子 英語教育について
岡本 武雄 測定・評價・教育

——學習態度評價の地位性——

大石 純梧 視聽覺教育の基礎問題

大澤 俊夫 福澤諭吉に於ける自立教育の立場

大段 智亮 醫療教育の根本問題

牧 文彦 情操教育について

美學美術史專攻

舊制

麻生 祐高 文藝批評論

小林 淑夫 舞蹈の本質に就いて

酒井 諄 音樂——時間——生

澁谷 滿穂 「藝術意志」考察

杉尾 修三 藝術と象徴

高橋 三郎 造化の根源

——文人畫の創造について——

早川 昌則 東山水墨畫に就いての一考察

福田 紀一 文藝理論としてのクロイチエ美學

宮島 啓二 日本自然主義文學

——その成立と特質——

森井 淳 俳諧に於ける美の創造

吉崎 四郎 シナリオ文學論

栗林 公大 演劇に於ける俳優の問題

武田 莊三 近代繪畫の道程

藤井 康 音樂的生成

社會學專攻

舊制

安藤 芳樹 戦後農村に於ける家族構成の變動

延増 次男 村落調査

神谷 國弘 民族主義論

佐伯 博 ストラティファイケーションに就いて

清水 武彦 近代社會成立の一側面

——近代化の人間の基礎——

城倉 寛 ロシヤ民族の研究

峠田 豊嗣 市民生活における封建遺制の諸問題

高城 正 家族を中心に見た法律規範と社會規範

高橋 憲昭 淨土教團の社會學的研究

仲村 祥一 リツケルトに於ける中間領域の概念について

野島 重男 都市人口の社會的移動性

松本 清 ザメンホフに於ける人類人思想の研究

村井 研治 ロシヤに於ける家族の研究

山口 公平 農村社會に於ける生活の共同について

植田 新也 農民離村の社會學的研究

木下 勝弘 輿論の社會學的一考察

古賀 博秀 嘘の社會學的研究

角 節郎 村落の開放性に關する社會學的實證研究

高橋 安 Personality

中 久郎 社會統制の基礎理論

林 邦夫 社會に於ける家族の機能に就いての一考察

——個人の社會化過程に於ける家族の意義——

前田 卓 家族と宗教

山田 勳 世論と世論調査

新制

宗教學專攻

舊制 石田 慶和 宗教的意識について

——本質論的視路よりするヘーゲル宗教哲學の根本問題の考察——

松尾 心空 ショーペンハウエルに於ける解脱の問題

三谷 好憲 神への道

新制 大塚 顯 存在と自由

岡村 圭眞 信仰の立場

清永 正照 科學と宗教のつながり

——パスカルの理性と直観——

佛教學專攻

舊制 後藤 善猛 識論と三性論の間

新制 工藤 成樹 轉依の論理的構造

——攝大乘論を中心として——

豊原 大成 三性説に於ける三性の順序に關する考察

基督教學專攻

舊制 飯田 徳昭 Brexning Christian

——キルケゴールの時間觀に關する一考察——

菊地 榮三 後期ユダヤ教に於ける律法

——律法主義の成立過程とその特質——

佐藤 吉昭 聖キプリアヌスに於ける教會統一の概念及びその構成

新制 山本 誠作 ルッターに於けるキリスト者の自由

京都大學文學部哲學科講義題目

——昭和二十八年度——

哲學

講義 山内 講師 哲學の論理と論理の哲學

研究 齋藤 講師 内在哲學批判の二つの立場

——ルカンチとハイテツガー——

伊藤 講師 記號論理學

演習 澤島 講師 Bergson : Introduction à la Métaphysique

平下 講師 Hegel : Enzyklopidie der philosophischen Wissenschaften (Geist Ⅱ)

三村 講師 Kant : Grundlegung zur Metaphysik der Sitten

西洋哲學史

講義 田中 教授 古代哲學史概説(前學年のつぎ)

高田 教授 中世哲學史概説(前學年のつぎ)

野田助教 西洋近世哲學史

田中 教授 アリストテレス哲學の諸問題

高田 教授 Causa の問題に關する研究

野田助教 パスカル研究

プリオット講師 聖トマスにおける有と實體との問題

小堀 講師 數學史

田中 教授 Platonis Gorgias

田中 教授 Aristotelis Categoriae et D. Interpretatione

tionis

高田 教授 Augustinus: Confessiones

高田 教授 Thomas Aquinas: In libros Metaphysicorum Aristotelis Expositio

高田 教授 Thomas Aquinas: Summa Theologiae

野田助教授 Schelling: Über das Wesen der menschlichen Freiheit

鈴木 講師 Platonis Apologia, Socratis

森口 講師 Kant: Kritik der reinen Vernunft (Transzendentaler Deduktion, 2. Aufh.)

松平助教授 ギリシア語文法 (四時間コース) 「哲學演習」と共通」

鈴木 講師 ギリシア語文法 (二時間コース) 「哲學演習」と共通」

山田 講師 ラテン語文法 (四時間コース) 「哲學演習」と共通」

泉井 教授 ラテン語文法 (二時間コース) 「哲學演習」と共通」

印度哲學史

講義 松尾助教授 印度哲學史

研究 松尾助教授 諸派哲學における我 (Ego) 思想の研究

演習 佐保田講師 ウパニシヤード神祕思想の起源

松尾助教授 金七十論 (前學年のレクチャー)

松尾助教授 Vyāsa: Yoga-bhāṣya

支那哲學史

講義 重澤 教授 支那思想史

研究 重澤 教授 周禮の思想的 research

後藤 講師 朱子倫理の根本問題

重澤 教授 王符「潜夫論」

重澤 教授 王安石「王臨川全集」(卷六十六)

心理學

講義 矢田部教授 心理學概論

研究 岡原助教授 發達心理學の問題

佐藤 講師 意志心理學の問題(前期)

柿崎 講師 知覺心理學の問題(後期)

今田 講師 アメリカ心理學の發達

矢田部教授 現代心理學の諸問題

岡原助教授 心理學上級實驗演習

本吉 講師 心理學史

矢田部教授 心理學外國文獻講讀

岡原助教授 心理學外國文獻講讀(前期)

柿崎 講師 心理學外國文獻講讀(後期)

佐藤 講師 心理學初級實驗演習

岡原助教授 心理學外國文獻講讀

本吉 講師 心理學外國文獻講讀

本吉 講師

倫理學

講義 島 倫理學概論

研究 島 近代倫理の形成

演習 島 教授 Kant: Kritik der praktischen Vernunft

鳥 教授 倫理學の諸問題

保口 講師 Bentham: Introduction to the Principles of Morals and Legislation

講義 島 社會學の諸問題

教育學教授法

講義 下程 教授 教育學概論

研究 餘坂 講師 教育課程

正木 講師 教育心理學實驗演習

亭坂 講師 教育心理學實驗演習

美學美術史

講義 非島 教授 美學序論

研究 非島 教授 藝術の創造と形成

上野 講師 佛教美術の主題

源 講師 日本の近世美術

吉川 講師 中世の西歐繪畫

演習 非島 教授 美學美術史の諸問題

河本 講師 Schiller: Philosophische Schriften

社會學

講義 白井 教授 社會學概論

研究 白井 教授 日本山村の實態

江藤 講師 社會調査の原理と方法

演習 白井 教授 社會學の諸問題

姫岡 講師 Viërkandl, A.: Kleine Gesellschaftslehre

渡邊 講師 MacIver, R. M. & Page, C. H.: Society. An Introductory Analysis

宗 教 學

講義 武内助教 宗教學概論

研究 西谷 教授 近代精神と宗教

武藤 講師 Kierkegaard: Begriff der Angst の研究 (前學年のリツキ)

棚瀬 講師 宗教における人格的態度

西谷 教授 Heidegger: Vom Wesen der Wahrheit

武内助教 Hegel: Phänomenologie des Geistes(前學年のリツキ)

佛 教 學

講義 長尼 教授 佛教學序論

研究 長尼 教授 攝大乘論の研究(前學年のリツキ)

塚本 講師 中國諸宗成立期の研究

長尼 教授 龍樹廻諍論(梵文)

山口 講師 月稱釋四百論(西藏文)(前學年のリツキ)

安藤 講師 十不二門指要鈔

基 督 教 學

講義 有賀 教授 基督教思想史概説

研究 片山 講師 バルト神學研究

演習 有賀 教授 現代神學の諸問題

西谷 教授

哲學研究 第四百十六號

有賀 教授 原始基督關係ギリシア諸資料講讀
ロイド講師 舊約原典講讀

關西哲學會春季大會

時 五月八日(金)、九日、(土)

所 和歌山大學學藝學部

一、總會 (八日午前十一時—十二時)

二、研究發表 (八日 午後一時—四時)
(九日 午前十時—十二時)

シエリングの「宇宙」概念について 立命館大 西川 富雄

カミュに於ける不條理と反抗 大阪大 矢内原伊作

論理的實證主義と形而上學 神戸大 田口 寛治

言葉と直観 大阪市大 森口美都男

三、公開講演會 (九日 午後一時—三時)

資本論の背景の論理 立命館大 梯 明秀

自我と世界 京都大 西谷 啓治

四、懇談晚餐會 (九日 午後四時—六時半)

受贈圖書

伊東 法俊著 存在哲學序說 A5版 昭和廿七年七月三十日發行(三和書房)

ヒルベルト アツケルマン 共著 記號論理學の基礎 (廣島大學工學部數學教員)

伊藤 誠譯 B5版 一九五二年(一)一五發行 (廣島大學工學部數學教員)

受贈雜誌

心理學研究 (日本心理學會) 第二十三卷第三號

哲學 (學習院大學哲學研究室內日本哲學會) 第二號

人文論究 (關西學院大學文學會) 第三卷第四號

史學雜誌 (史學會) 第六十二編第一號

經濟學雜誌 (大阪商科大學經濟研究所) 第二十七卷第四・五號 第六號

一橋論叢 (一橋大學一橋學會) 第二十九卷第二號

美學 (美學會) 第十號、第十一號

山口經濟學雜誌 (山口大學經濟學會) 第三卷第三號

哲學 (廣島文理科大學內廣島哲學會) 第三號

立命館文學 (立命館大學人文科學研究所) 第九十二號

東洋史研究 (京都大學文學部內東洋史研究所) 第十二卷第二號

經濟論叢 (京都大學經濟學會) 第七十一卷第一號、第二號

人文科學研究 (新潟大學人文學部) 第四號

東北大學文學部 第三號

研究紀要 (尾道短期大學) 第二號

國語國文 (京都大學國文學會) 第二十二卷第一號

史學雜誌 (史學會) 第六十二編第二號

宗教研究 (日本宗教學會) 第一三三號

國語國文 (京都帝國大學會)

一橋論叢 (一橋大學圖書館會)

經濟論叢 (京都帝國大學經濟學部會)

立命館文學 (立命館大學人文科學研究所)

文 化 (東北帝國大學會)

經濟學雜誌 (大阪商科大學經濟學部會)

山口經濟學雜誌 (山口帝國大學會)

文學研究 (九州大學文學部九州文學會)

德島大學學藝學部紀要 (大分縣立大學會)

人文研究 (大阪市立大學文學部)

University of California Publications in Philosophy

Vol. 1 (1904)

Vol. 6 : No. 2(1925), No. 4('28), No. 5('29)

Vol. 8 (1926) : The Nature of Ideas

Vol. 9 (1927) : The Problem of Substance

Vol. 10 (1928) : The Problem of Truth

Vol. 11 (1929) : Studies in the Nature of Truth

Vol. 12 : No. 1(1929), No. 2('30), No. 3, ('31), No. 4('31)

Vol. 13 (1930) : Studies in the Problem of Relations

Vol. 14 (1932) : Studies in the Nature of Facts

Vol. 16 : No. 1(1932), No. 2('35), No. 3('38), No. 4('40),

No. 5('40), No. 6('41), No. 7('45), No. 8('46), No. 9('47),

No. 10('48), No. 11 '49), No. 12('50)

Vol. 17 (1954) : Possibility

Vol. 18 (1935) : The Problem of Time

Vol. 19 (1936) : The Nature of Mind

Vol. 20 (1937) : The Problem of the Individual

Vol. 22 (1942) : A Contextualistic Theory of Perception

Vol. 23 (1942) : Civilization

Vol. 24 (1950) : Hume's Theory of the Passions and of Morals

Vol. 25 (1950) : Meaning and Interpretation